

中台小だより

成田市立中台小学校

令和7年11月20日発行

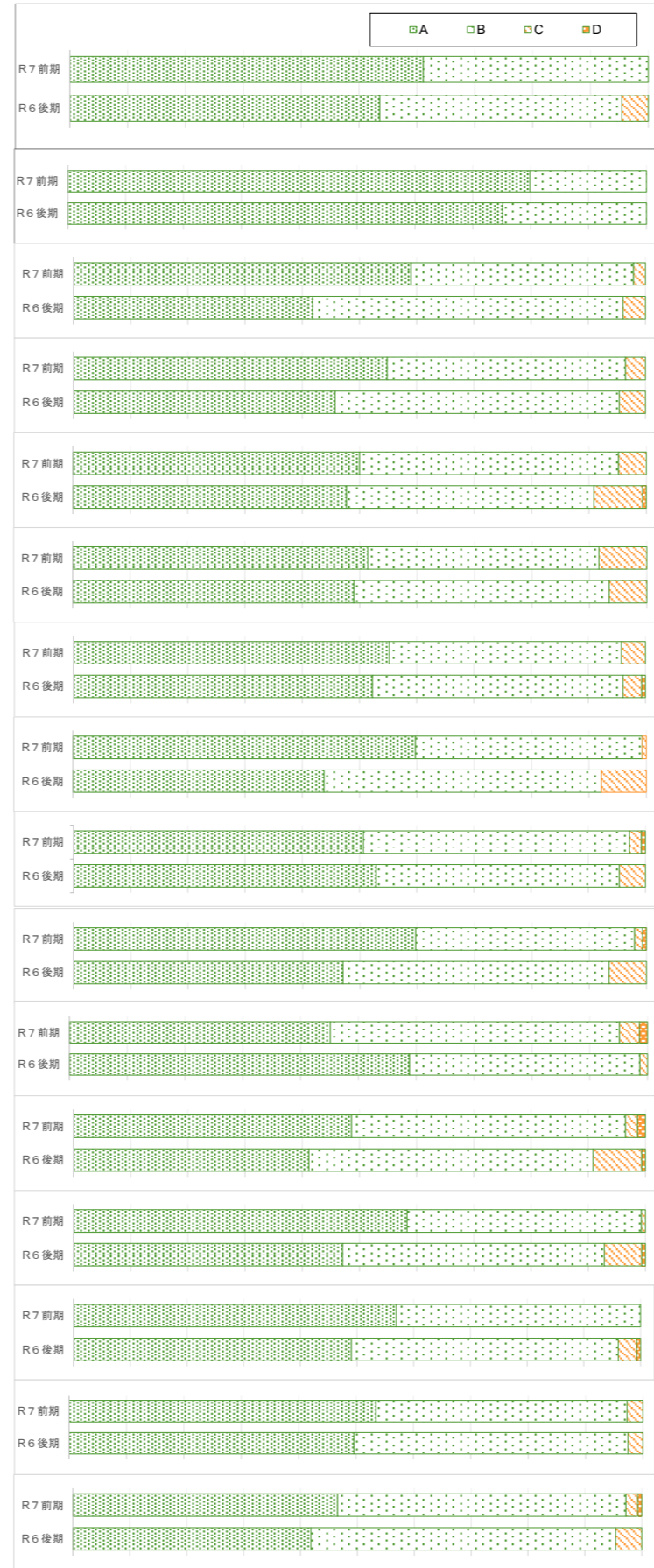


令和7年度前期学校評価アンケートの結果について

お忙しい中、今年度も学校評価アンケートに御協力いただき感謝申し上げます。
 今回も電子回答で実施しました。調査に際して若干の未実施・無回答があったため「回答割合（無回答・未提出を除いた数値）」で分析しております。御了承ください。

【評価Aは十分達成、Bは概ね達成、Cはどちらかという達成できていない、Dはほとんど達成できていない、Eは未実施（無回答）】

区分	項目	実施期	評価					AとBの割合	CとDの割合	補正值(Eを除いた割合)	
			A	B	C	D	E			A+B	C+D
I. 家庭との連携情報の公開	1 学校は、教育方針を分かりやすく伝えている。	R7前期	60.3%	38.4%	0.0%	0.0%	1.4%	98.6%	0.0%	100.0%	0.0%
		R6後期	51.3%	40.0%	4.4%	0.0%	4.4%	91.3%	4.4%	95.4%	4.6%
	2 授業や行事等を参観する機会を十分設けている。	R7前期	78.8%	19.9%	0.0%	0.0%	1.4%	98.6%	0.0%	100.0%	0.0%
		R6後期	71.9%	23.8%	0.0%	0.0%	4.4%	95.6%	0.0%	100.0%	0.0%
3 非常災害等の緊急時に備え、学校と家庭との連携ができています。	R7前期	58.2%	38.4%	2.1%	0.0%	1.4%	96.6%	2.1%	97.9%	2.1%	
	R6後期	40.0%	51.9%	3.8%	0.0%	4.4%	91.9%	3.8%	96.1%	3.9%	
4 学校は、保護者とともに児童を育成することができるように、お子様や学校の様子を丁寧に発信・連絡している。	R7前期	54.1%	41.1%	3.4%	0.0%	1.4%	95.2%	3.4%	96.5%	3.5%	
	R6後期	43.8%	47.5%	4.4%	0.0%	4.4%	91.3%	4.4%	95.4%	4.6%	
II. 学習活動について	5 学校は、学力向上のための取組を行っている。	R7前期	49.3%	44.5%	4.8%	0.0%	1.4%	93.8%	4.8%	95.1%	4.9%
	R6後期	45.6%	41.3%	8.1%	0.6%	4.4%	86.9%	8.8%	90.8%	9.2%	
	6 学校は、子どもが読書に親しむための取組を行っている。	R7前期	50.7%	39.7%	8.2%	0.0%	1.4%	90.4%	8.2%	91.7%	8.3%
R6後期	46.9%	42.5%	6.3%	0.0%	4.4%	89.4%	6.3%	93.5%	6.5%		
7 学校は、家庭学習が習慣化するための取組を行っている。	R7前期	54.1%	39.7%	4.1%	0.0%	1.4%	93.8%	4.1%	95.8%	4.2%	
	R6後期	50.0%	41.9%	3.1%	0.6%	4.4%	91.9%	3.8%	96.1%	3.9%	
III. 健康指導など生徒指導	8 学校は、子どもがきまりや約束を守って生活できるように指導を行っている。	R7前期	58.9%	39.0%	0.7%	0.0%	1.4%	97.9%	0.7%	99.3%	0.7%
		R6後期	41.9%	46.3%	7.5%	0.0%	4.4%	88.1%	7.5%	92.2%	7.8%
	9 学校は、児童の道徳心や人権意識を高め、いじめや暴力のない学校づくりに取り組んでいる。	R7前期	50.0%	45.9%	2.1%	0.7%	1.4%	95.9%	2.7%	97.2%	2.8%
		R6後期	50.6%	40.6%	4.4%	0.0%	4.4%	91.3%	4.4%	95.4%	4.6%
	10 学校は、子どもの健康増進・体力の向上に向けた取組を行っている。	R7前期	58.9%	37.7%	1.4%	0.7%	1.4%	96.6%	2.1%	97.9%	2.1%
R6後期	45.0%	44.4%	6.3%	0.0%	4.4%	89.4%	6.3%	93.5%	6.5%		
11 学校は、児童一人一人の持っている良さや可能性を伸ばしている。	R7前期	44.5%	49.3%	3.4%	1.4%	1.4%	93.8%	4.8%	95.1%	4.9%	
	R6後期	56.3%	38.1%	1.3%	0.0%	4.4%	94.4%	1.3%	98.7%	1.3%	
12 学校は、児童や保護者・地域の声を受け止め、親身になって対応している。	R7前期	47.9%	47.3%	2.1%	1.4%	1.4%	95.2%	3.4%	96.5%	3.5%	
	R6後期	39.4%	47.5%	8.1%	0.6%	4.4%	86.9%	8.8%	90.8%	9.2%	
IV. 学校行事など	13 学校は、子どもが楽しめる活動内容を工夫している。	R7前期	57.5%	40.4%	0.7%	0.0%	1.4%	97.9%	0.7%	99.3%	0.7%
		R6後期	45.0%	43.8%	6.3%	0.6%	4.4%	88.8%	6.9%	92.8%	7.2%
14 学校は、児童個々の実態に応じた支援の手立てや合理的配慮、校内体制がとられている。	R7前期	56.2%	42.5%	0.0%	0.0%	1.4%	98.6%	0.0%	100.0%	0.0%	
	R6後期	46.9%	45.0%	3.1%	0.6%	4.4%	91.9%	3.8%	96.1%	3.9%	
V. 環境	15 学校は、児童の豊かな心を育むにふさわしい教育環境を整えている。	R7前期	52.7%	43.2%	2.7%	0.0%	1.4%	95.9%	2.7%	97.2%	2.8%
		R6後期	47.5%	45.6%	2.5%	0.0%	4.4%	93.1%	2.5%	97.4%	2.6%
16 学校は、地域人材やボランティアを活用した教育環境を整え、社会体験活動を十分に行っている。	R7前期	45.9%	50.0%	2.1%	0.7%	1.4%	95.9%	2.7%	97.2%	2.8%	
	R6後期	40.0%	51.3%	4.4%	0.0%	4.4%	91.3%	4.4%	95.4%	4.6%	



【分析】

(1) 昨年に引き続き、全ての項目で、肯定的な回答が9割を超えています。学校の取り組みについて保護者の皆様から一定の御理解を頂戴していると考えます。

◎特に高い（A+B 95%以上）項目
 ①教育方針の説明 ②参観機会の確保 ③緊急時の連携 ④情報発信 ⑤学力向上
 ⑦家庭学習 ⑧きまりや約束を守った生活 ⑨人権意識の向上・いじめのない学校づくり ⑩体力向上
 ⑪可能性の伸長 ⑫親身な対応 ⑬活動内容の工夫 ⑭個に応じた指導、合理的配慮
 ⑮教育環境の整備 ⑯ボランティア・地域人材の活用

(2) さらなる高みを目指し、工夫が必要な御指摘を頂いた項目が4点ありました。

▼昨年度後期に比して数値が低下している項目。（4項目）
 ⑥読書習慣の確立（-1.8ポイント） ⑦家庭学習の習慣化（-0.3ポイント）
 ⑪可能性の伸長（-3.6ポイント） ⑮教育環境の整備（-0.2ポイント）
 ※このうち、「⑥読書習慣の確立」については、唯一95%に達していない項目でもあります。

これらの項目は、改善・努力事項として、職員の体制・対応を見直すとともに、保護者の皆様と連携して、子どもたちが達成感のある活動を創り上げてまいります。

特に⑥「読書習慣の確立」については、学年によって評価に差があり、低学年では比較的習慣化されているとの評価をいただいています。一方で自由記述でも読書タイムの設定など、活字を読む機会を積極的につくってほしいとの御提案もいただきました。現在、週1時間以上の図書室利用や、学校司書と図書委員会による各種キャンペーン、地域ボランティアなどによる読み聞かせなどを実施していますが、学年の実態に合わせ、読書の習慣化に向けて工夫を行っていきたくと考えています。

▶⑪「一人一人の可能性の伸長」については、全職員で研修の充実を図り、個々の授業力の向上に努めると共に、来月実施予定の教育相談や各種アンケートはもとより、日常生活からより一層児童理解を深め、一人一人のよさや可能性を伸ばしていきたいと考えています。

▶⑦「家庭学習の習慣化」については、今年度より「家庭学習の手引き」を作成し、活用を始めております。発達段階に応じた家庭学習の取り組み方や達成目標、そのための内容例などをお示ししておりますので、学校と家庭で連携して学習習慣の確立を目指していきたいと考えています。

自由記述より

①タブレットの使用をもう少し自由にさせてほしい。/
 タブレット学習の時間は減らしていただきたい。デジタルから手書きや紙に戻している事例もある。

→タブレットの使用については、様々な感想をお持ちだと思います。現行の学習指導要領では、「学習の基盤となる資質・能力」として「言語能力」「問題発見・解決能力」と共に「情報活用能力」が挙げられ、これらの育成をめざしていくよう定められています。また、「個別最適な学び」と「協働的な学び」が両立して実現されるためには、一人一台端末環境は「令和の学びのスタンダード」として不可欠なものだとされています。実際、タブレットを用いることによって、学習方法の可能性が飛躍的に拡大・充実していると感じています。

ただし、ここで押さえておきたいのは、タブレットは児童の資質・能力を育成するためのツールである、ということです。本校では、学習のねらいとタブレットの使用が本末転倒にならないように、使用頻度や利活用の方法について全職員で研修を重ね、さまざまな資質・能力の育成をバランスよく行っていけるように、授業改善に努めて参ります。

②授業参観や運動会など、保護者が行かなければならぬ行事は全体的にもっと少なくていいです。オープンスクールの時間を午後にも設けてほしいです。

→保護者の方に学校にお越しいただく行事の持ち方についての御意見も数名から頂戴しました。このような行事の多くは、学校での児童の様子を実際に御覧いただき、感じていただいたことを今後の学校運営の在り方に生かしたり、学校と御家庭との連携について具体的に考えていったりすることを願って設定しております。行事の頻度や内容につきましては、御意見を参考に、頻度や内容を精査しながら来年度に向けて再考して参りますが、「百聞は一見にしかず」という言葉もあるように、学校という環境の中でお子さまがどの様に活動しているかを御覧いただける機会として捉えていただき、御都合のつく中で、御参加いただければと存じます。また、個人面談などの行事につきましては、都度御相談いただくことで調整できる可能性もあります。どうぞ御理解いただきますようお願い致します。

【その他 いただいた御意見】
 ・給食指導について ・児童への声かけについて ・体操服・名札の指定や着用について など

御回答・御意見を賜り、ありがとうございました。
 保護者の皆様からの御意見を分析したことで、改めて現在の本校の課題が明確になりました。その一方で、昨年からの取組への評価もいただけていることから、皆様、常に本校の教育活動に深い関心と御理解を寄せてくださっていることを強く感じました。また、御意見以外にも、本校の教育や教職員への感謝・励ましの言葉もたくさん頂戴しました。今後も、全ては子どもたちのために、地域から信頼される魅力ある学校を目指して、教職員一同、日々精進して参ります。御協力をお願いいたします。
 【問い合わせ】教頭（千代島）